

株式会社ノーリツ様

Company Profile



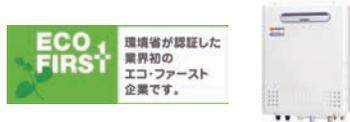
株式会社ノーリツ

設立：1951年3月

資本金：20,167百万円

従業員数：2,346人

「お風呂は人を幸せにする」という創業の原点をもとに、浴槽、給湯器、お湯周り製品の製造・販売を行っている。また、地球環境との共生という課題にもグループ挙げて取り組んでおり、2009年3月ガス業界で初めて環境省より「エコ・ファースト企業」認証を取得した。

URL: <http://www.noritz.co.jp/>

「現在では、書類一丁（ふあいるいっちょう）*は、社内の一つのインフラとして定着している。今後、社員がより使いやすいようにカスタマイズを行っていききたい」と今後の展望を語る長尾氏。

*ノーリツ社内でのオフィス宅ふあいる便の呼称

IT推進部
推進2グループ

長尾 謙一郎氏

容量の大きいデータのやり取りをオフィス宅ふあいる便で行うことにより、業務を効率化。

ノーリツでは、メールで送信できない容量の大きいデータのやり取りをCDやUSBメモリなどの媒体を使用したり、フリーのメール・ファイル転送サービスを利用して行っていた。社内のデータを社外の保証のないサーバに保存することを、セキュリティー上問題視し、2006年12月に、自社専用のファイル転送サービスとして、オフィス宅ふあいる便を導入した。導入当初より予想を上回る利用実績になり、現在では、社内のインフラとして定着している。

導入背景 フリーサービス利用の危険性を問題視

ファイル転送サービスの導入を企画した長尾氏は、オフィス宅ふあいる便を導入するに至った経緯を、「社内でメールに添付できるファイルサイズの制限を越えるファイルのやり取りが発生していた。その代替手段としてフリーのメール・ファイル転送サービスが使われていたが、それらを全て管理することはできず、情報セキュリティ上の問題となっていた。また、一方ではCDやUSBメモリなどの媒体を使っのやり取りも行われていたため、ユーザの利便性の課題もあった。そこで、自社専用のサービス導入を検討し始めた」と振り返る。

導入ポイント 宅ふあいる便の信頼性カスタマイズも可能

いくつかのサービスを比較したところ「当時65万人というユーザ実績のある宅ふあいる便サービスを提供しているという信頼性があった。社内でも、すでに利用している社員が多かった。こういった理由から、オフィス宅ふあいる便が最適だと判断した。また、導入における教育は一切不要だった」と語った。「機能として足りないものはあったが、カスタマイズができたので問題はなかった。社外のお客様からデータを受け取る場合、お客様を登録できるスポットユーザ機能。但し、3ヶ月使用していないユーザは自動的に削除される。また、送信したファイルを6ヶ月間保存できる

アーカイブ機能もつけた」と自社の利用スタイルに合わせた機能をカスタマイズできた点も高い評価につながったという。

導入効果 社員の業務を効率化セキュリティの安全性も確保

導入当初より、全社員が使えるように一括登録を行った。その後、サービス開始の案内を全社に向けて行ったが、操作教育等は行っていない。操作マニュアル、ヘルプメニューもないという。「書類一丁（ふあいるいっちょう）*は、社内ポータルにメニューの一つとして表示されている。導入教育は行っていないが、どんだん口コミで広がって行っている。社内でも評判がよい。操作も簡単だからじゃないだろうか。問い合わせも少しあったが、電話で答えれば解決する程度。今では、大容量のデータを送る時はこれだと、社員も分かっていると思う」と長尾氏はその効果に満足を示している。

*ノーリツ社内でのオフィス宅ふあいる便の呼称

現在では、利用者は月平均700名。ファイル送信数は、月平均5,000~7,000件。この利用数は、導入当初の10倍になっているという。その割合は、8割は社内でのやり取り、2割が社外とのやり取り。「それまでの社内での大容量データのやり取りは、CDやUSBなどの媒体で行ったりもしていた。それがなくなっただけでも、社内の業務効率はずいぶん上がった。また、社外のお客様も、これまでは大容量のデータは、わざわざ媒体に保存し、持って来られたりしていた。今では、これを

導入背景

- メールでの容量制限を超えるファイルのやり取りが発生している
- USBメモリ、CDなどの媒体を使ったファイルのやり取りは非効率
- フリーのメール・ファイル転送サービスの使用は、セキュリティー上問題がある

導入ポイント

- 2006年当時65万人という宅ふあいる便の利用実績があり、信頼性が高かった
- すでに宅ふあいる便の利用者が社内が多かったため導入教育が不要
- 足りない機能は、カスタマイズできる

導入効果

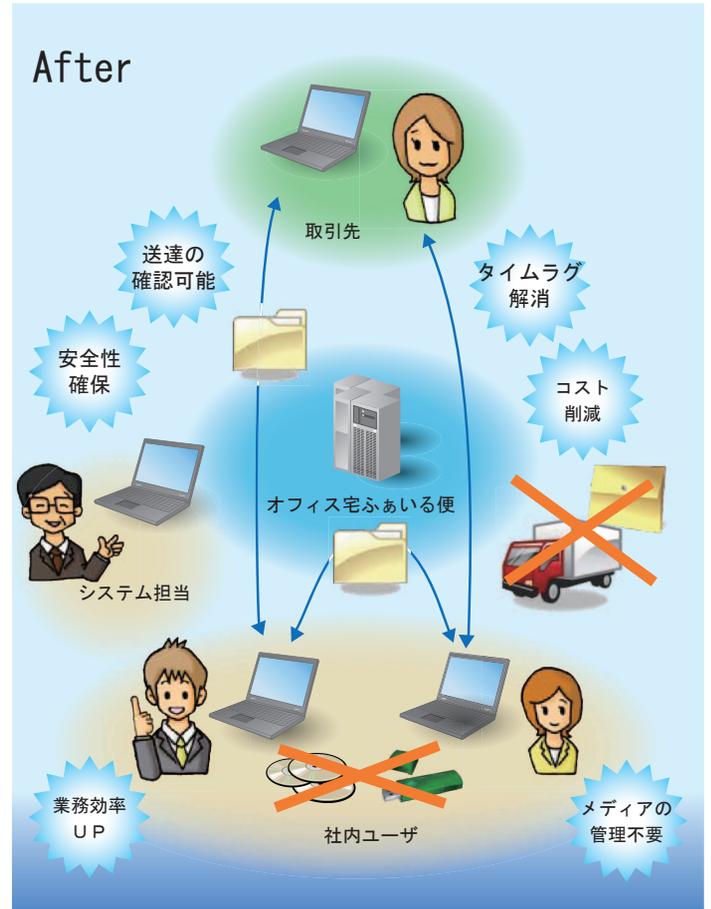
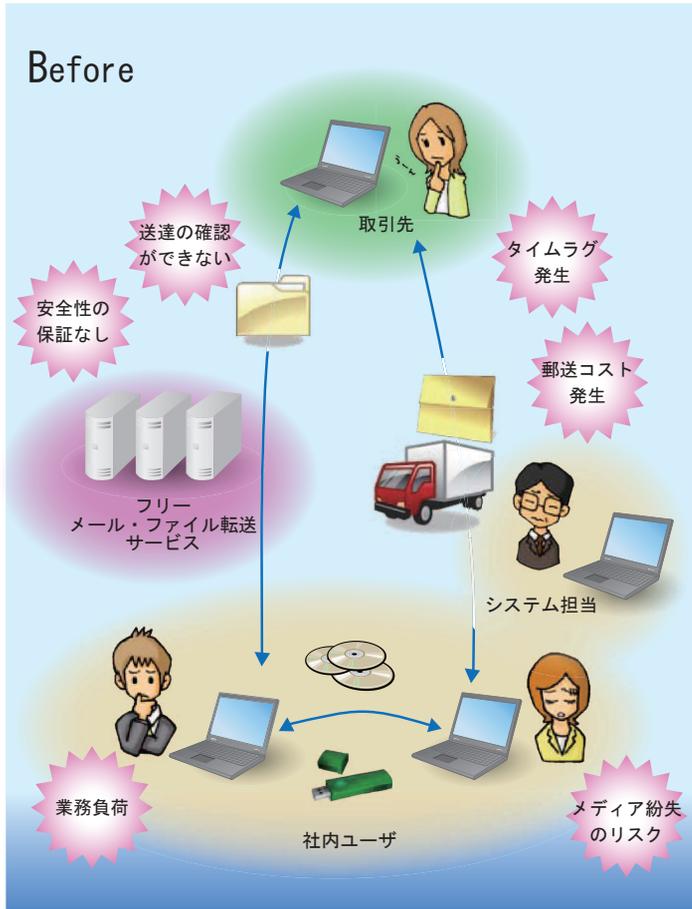
- ファイルのやり取りのためのCD作成や郵送準備作業がなくなり、業務が効率化された
- やり取りされるファイルは、全て社内のサーバで管理されるため安心
- 外部へ情報セキュリティへの取り組みをアピールできる

使ってくださいということができると、お客様も、便利だし、安全だと喜ばれている」と、社外への情報セキュリティへの取り組みをアピールできたことも、大きな効果として挙げている。

社内インフラの一つとして定着しているオフィス宅ふあいる便であるが、現在、より使いやすさを目指してカスタマイズを検討しているという。社内でのやり取りが多いため、ファイル送信時に、登録されている社員のアドレスを検索して、宛先に選択できる機能である。

「書類一丁は、今では、社内インフラとして当然のものになっている。そういう意味では、もう落ち着いていると言える」と、現在のオフィス宅ふあいる便の運用の安定さをうかがわせた。今後は、グループ会社へも展開していきたいと考えているという。

今後について 社員がより使いやすい機能をカスタマイズ
グループ企業内でのサービス展開を目指す



オフィス宅
ふあいる便
導入メリット

- 「いつ、誰が、どこに、何を」送ったか送受信履歴を管理できます
- 企業の重要なデータを保証された環境でやり取りをすることができます
- 使用者・送信範囲を限定し、第三者の利用を防ぐことができます

<http://www.ogis-ri.co.jp/>
info@ogis-ri.co.jp

株式会社 オージス総研

営業企画部 Tel: 03-5440-4771(東京)
052-209-9390(名古屋)
06-6871-8054(大阪)

*記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。
*本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。
*本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。